

「この人 83」

新島里子 85歳 三重県

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

新 島 俳句は、三十年程前、五十歳代に友人に誘われて始めました。昨年、俳句雑誌で、滑稽俳句大賞募集の広告を見つけて応募したのがきっかけです。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

新 島 世の中の色々な現象を面白く捉え、それを共有する仲間のいてくださることが喜びになっています。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

新 島 もともと俳句の要素には「諧謔」があります。大げさな笑いではなく、おのずから滲み出る洒落や冗談が、比較的濃くあらわれたものだと思います。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

新 島 句会には出しても、所属の俳誌への投句はせず句帳に眠る運命の俳句が、日の目を見ることが出来たことです。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

新 島 大きな目標を持ったり、何かに役立とうなどという態度を捨てて、勝手気ままに生きることではないでしょうか。気が付いたら、滑稽俳句となっていた、となりたいです。

【代表句】

検尿も花見の酒も紙コップ
梅干して一人前の婆となる
片蔭にわが影法師暗殺す
小芋メをつひに刺したり箸の先
神田の生まれよふところも空つ風